

MySQL 5.0.87 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ:

- **矛盾を含む可能性がある変更:** MySQL のバイナリインストールの場合、支給されている *binary-configure* スクリプトを実行すると、コマンドラインオプション--help を指定したコマンドでヘルプを要求した場合でも、MySQL の起動および構成が実行された。現在では、--help を指定しても、サーバの起動およびインストールは実行されない ([Bug#30954](#))。
- **レプリケーション:** [BEGIN](#) ステートメントが、*mysqlbinlog* の出力に含まれていなかった ([Bug#46998](#))。
- **レプリケーション:** データベースレベルの文字セットが必ずしもレプリケーション SQL スレッドで尊重されなかった。これにより、マスタで [LOAD DATA](#) によって挿入されたデータが、不正な文字セットで複製される可能性があった ([Bug#45516](#))。
- **API:** [Bug#24507](#) の修正により、競合が原因でクライアントアプリケーションが失敗する可能性があった。現在では、サーバが「ダミー」スレッドのリターンを待ってから終了するので、POSIX スレッドライブラリは1つのスレッドしか初期化できないようになっている ([Bug#42850](#))。
- Mac OS X または Windows の場合、サーバまたは非同期 FLUSH ([flush_time](#) によってトリガされる) に SIGHUP シグナルを送信すると、サーバがクラッシュした ([Bug#47525](#))。
- Solaris ライブラリパッケージは現在、-g ではなく -g0 でコンパイルする ([Bug#47137](#))。
- 特定の有効なクエリに対し、[EXPLAIN](#) でサーバがクラッシュした ([Bug#47106](#))。
- Windows 上で *mysqld-nt* および--install パラメータを使用して新しいインスタンスを作成する際、サービスの値が正しく設定されず、構成済みサービスを起動できなかった ([Bug#46917](#))。
- 相関関係のあるサブクエリ内で外部カラム参照を再使用する際、エンクロージング型クエリでテンポラリテーブルを使用すると、サーバがクラッシュした ([Bug#46791](#))。
- [CREATE TABLE ... LIKE](#) の [sync_frm](#) の設定をサーバが無視した ([Bug#46591](#))。
- 既存のビューと同じ名前のテーブルを作成しようとすると、サーバがクラッシュした ([Bug#46384](#))。
- 形式が正しくないクエリが [EXPLAIN](#) で検出されると、メモリリークが発生した ([Bug#45989](#))。

- Windows 上で、以前インストールされた MySQL のデータディレクトリが存在するサーバに MySQL を再インストールする際、インストーラは該当するインストールの存在と root ユーザ用のパスワードを認識できなかった ([Bug#45200](#))。
- 埋め込みサーバの場合、クライアントフラグの初期化が正しく実行されないため、jp テストスイート内のテストがいくつか失敗した ([Bug#45159](#))。
- 一部のプラットフォームでスタック成長テストに失敗し、これがサーバクラッシュの原因となっていた ([Bug#42213](#))。
- [UPDATE](#) ステートメントのサブクエリで使用されるテーブルに対して、MySQL サーバが間違ったロックタイプを使用した (適切な場合は TL_READ_NO_INSERT の代わりに常に TL_READ を使用した)。その結果、ステートメントが間違った順序でバイナリログに書き込まれるので、レプリケーション障害になる場合があった ([Bug#42108](#))。
- [FLUSH TABLES](#) を [SHOW FUNCTION STATUS](#) または [SHOW PROCEDURE STATUS](#) と同時に実行すると、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#34895](#))。
- [myisamchk](#) が起動時にパラメータ値のキャストを実行し、不要な警告メッセージが生成された ([Bug#33785](#))。
- Windows 上でソースから MySQL をビルドする際、WITH_BERKELEY_STORAGE_ENGINE オプションを指定すると、BDB のサポートを正しく構成することができなかった ([Bug#27693](#))。
- 頻繁に使用されるキーバッファのサイズを変更すると、サーバがクラッシュする可能性があった。1つのテーブル内の全インデックスのブロックサイズが同じでない場合は、本修正により、[LOAD INDEX INTO CACHE](#) が失敗する制限が一部除去される。現在、該当ステートメントは、IGNORE LEAVES を指定した場合にのみ失敗する ([Bug#17332](#))。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。